

平成26年度

尼崎の教職員を支援するために

— 平成26年度事業計画 —

— 平成25年度事業報告 —

尼崎市教育委員会事務局 学校教育部

教育総合センター

目 次

平成26年度 『尼崎の教職員を支援するために』

平成26年度事業計画

1	教育総合センターの事業について	1
2	研修体系策定の方針	3
3	具体的な取り組み	4
4	研修をすすめるにあたって	5
5	研修体系図	6
6	教育総合センター研修一覧表	7
7	教職員研修計画内容	9
8	視聴覚センターの研修・普及事業	1 5
9	研修・研修講座分担一覧	1 6
10	文科省・県教委等の実施する研修一覧	1 9

平成25年度事業報告

11	平成25年度研修報告	2 0
12	平成25年度教育相談担当の研修事業等報告	2 8
13	平成25年度教育研究部会の概要報告	3 1
14	児童生徒文化充実支援事業の概要報告	3 4
15	平成25年度視聴覚センター事業報告	3 5
16	平成25年度教科書センター事業報告	3 6
17	平成25年度教育情報の収集・整理事業報告	3 6

資料

欠席届（様式3・4・5）	3 7
--------------	-----

1 教育総合センターの事業について

教育総合センターは、教職員の研修、教育の情報化の推進、教育相談の3事業を担当するとともに、児童生徒文化充実支援事業を中心に市内小・中学校の各教科研究会と連携し、学力向上に繋がる実践的な取組を支援している。以下、本年度の運営方針と事業の概要を示す。

1 運営方針

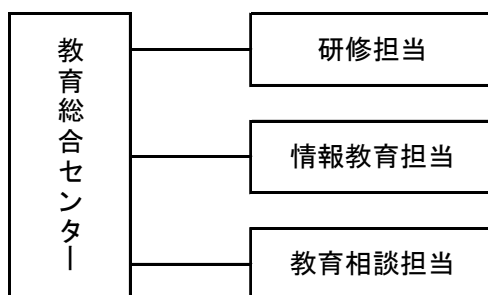
兵庫県は、教育の基本計画である「ひょうご教育創造プラン」を策定し、「こころ豊かな人づくり」の基本理念に基づき「確かな学力」の確立、自立心や自律性など、道徳性をはじめとする「豊かな心」の育成、いじめ・不登校対応など子どもたちの「心」を支えるシステムの充実、教職員の資質能力の向上などを目指している。

本市においても、平成25年度から今後10年間を見通した新たな『尼崎市総合計画』が示された。学校教育では「教育の充実で子どもの生きる力をはぐくむまち」を掲げ、「学力の定着」「豊かな心の育成」、「健やかな体づくり」の三点を取組の方向性として定めた。重点取組項目では、確かな学力を身につけさせるための授業改善や校種間の連携の促進、教員の「実践的指導力」に加え、「学校組織力の向上」を示した。

教育総合センターでは、県や市の示した方向性と市の総合計画に対応すべく、研修体系や相談体制に基づき、教職員の不断の研究と修養を支援するとともに、いじめ・不登校・非行問題・しつけ・虐待などに対し、子どもや家庭、学校への支援の充実を図る。

2 主な事業の概要

教育総合センターには研修・情報教育・教育相談の3つの担当があり、それぞれが連携を図りながら事業を進めていく。



<調査研究・教材開発事業>

学校教育に関する専門的・技術的事項について、所属長の推薦を得て教員に研究員を委嘱し、センターの指導主事と協力して実践的な研究を進める。

成果は研究紀要（平成26年度末に第52号を発刊）にまとめるとともに、全国教育研究所連盟、近畿地区教育研究所連盟、兵庫県教育研究所連盟、教育総合センター研究発表会等で発表していく。今年度は地域の大学との連携による研究を一部取り入れていく。

<教職員研修事業>

県・市の方針のもと、本市課題を把握し、研修体系の見直しを行った。

- 1 人材育成の強化
- 2 他部門との連携強化
- 3 今日的課題への対応力強化

以上の３点を柱とし、研修事業を進めていく。

＜児童生徒文化充実支援事業＞

児童生徒の個性・能力の伸長、学習への興味・関心・意欲を高めるため、児童生徒文化発表会等の文化的活動の奨励及び小・中学校の各教科研究会の実践的な取組を支援する。

＜マイスター事業＞

教員の資質・指導力の向上を図るため、教科指導等において優れた教育実践を進める教員を表彰するとともに、優れた授業を広く公開し、実践的指導力の向上を支援する。

＜指導力パワーアップ事業＞

授業改善アドバイザーを小学校４名、中学校５名配置する。若手教員による学級づくりの課題解決及び授業内容の充実等のため、各小・中学校へ派遣し、指導・助言を行い、人材育成をスムーズに進め、若手教員の授業力・学級経営に係る指導力の向上を図る。

＜ぐんぐんのびる個別ドリルシステム活用事業＞

児童一人ひとりの進度にあった、計算や漢字の個別ドリルシステムを活用し、児童の学習意欲を促す。基礎的な学習の習得に支援が必要な児童等を中心に、繰り返し学習させながら、つまづきを発見し、次のステップへ進むための個別学習を支援する。加えて、中学校生徒への効果的活用も推進する。

＜学校情報通信ネットワークシステム関係事業＞

教育の情報化を推進する。児童・生徒に対し、情報活用能力の育成を図るとともに、ＩＣＴを活用した授業や、情報モラル教育の充実を図る。また、校務の情報化を推進し、校務処理の効率化で生み出した時間を、児童・生徒と関わる時間に充てる。ネットワークの活用では、学校間、教育委員会の情報共有や、学校からの情報をホームページに公開する。

＜教育相談事業＞

教育上の課題を持つ子ども、悩みを持つ保護者や学校・園からの相談に応じ、子どもの心身の望ましい発達を育むための支援を行う。

- １ カウンセリングや心理テスト、各種の心理療法を取り入れ、的確な助言により問題解決を図る
- ２ 教育相談の方法として、面接相談、電話相談、出張相談を行う
- ３ スーパーバイザーによる相談員への指導助言を行う
- ４ 専門相談員（臨床心理士等）による個別相談を行う

＜高等学校カウンセラー派遣事業＞

市立高等学校にカウンセラー等を派遣し、教職員のカウンセリング技能の向上を図るとともに、心の悩みを持つ生徒及びその保護者の面接相談を実施する。

＜教育情報の収集と提供事業＞

教育に関する図書、雑誌及び全国の教育センターの研究報告書、市内学校・園の研究誌等を収集するとともに、利用しやすいように整備し、貸出を行う。広報活動として「教育あまがさき」（年間２回）「教育総合センターだより」（年間４回）を発行する。

また、教職員及び市民の教科書研究のため、教科書センターを常設する。

＜視聴覚センター事業＞

市民等を対象に、１６ミリ映写機操作技術講習会を実施するほか、１６ミリフィルムや映写機、ビデオテープ、ＤＶＤや液晶プロジェクタ等の貸出を行う。

2 研修体系策定の方針

1 平成26年度学校教育に関する重点取組

- (1) 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる
 - 1 授業改善の取組を促進するとともに家庭との連携により、学力向上を推進する
 - 2 特別支援教育充実の取組を促進し、自立や社会参加に向けた主体性を育成する
 - 3 校種間連携の取組を促進し、滑らかな成長を推進する
- (2) 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る
 - 1 道徳性育成の取組を促進し、良好な人間関係及び社会とのかかわりづくりに努める
 - 2 基本的生活習慣確立の取組を促進し、問題行動の未然防止を図る
 - 3 相談体制充実の取組を促進し、不適応行動への早期対応及び長期欠席の改善を図る
 - 4 進路指導充実の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する
- (3) 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む
 - 1 食育を通して生活改善の取組を促進し、望ましい生活習慣を育成する
 - 2 体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る
- (4) 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る
 - 1 安全教育の取組を促進し、登下校及び校内の安全確保を図る
 - 2 防災教育充実の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る
- (5) 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む
 - 1 教職員の資質向上の取組を促進し、学校の組織力向上を図る
 - 2 地域資源活用の取組を促進し、開かれた学校園づくりを図る
 - 3 学校評価活用の取組を促進し、学校運営の改善と発展を図る

2 研修体系について

平成26年度学校教育に関する重点取組をふまえ、研修を大きく基本研修、専門研修と特別に実施する研修の3つに分類し実施していく。

(1) 基本研修

1 職階に応じた研修

信頼された学校・園づくりに取り組むために、教職員の資質向上や学校の組織力向上に取り組むため職階に応じた研修を実施する。

2 職務に応じた研修

生徒指導研修や主幹教諭研修をはじめ、学校の中核となる教員育成のため、防災・安全教育、特別支援の中心となるコーディネータなど、職務に応じた研修を実施する。

3 教職年数に応じた研修

初任者研修をはじめ、教職員の資質の向上を目指し、教職経験年数に応じた研修を実施する。

初任者研修では、中核市としての利点をいかし、尼崎の地域を活用した研修に取り組み、尼崎市に対する地域愛を育てる。また、2年目以降においても、教職年数に応じた研修に取り組み、教職員の立場に合った研修を実施する。

(2) 専門研修

1 教育課題等への対応研修

校種間の連携に取り組む研修、人権教育研修、情報教育に関する研修や心の教育の充実のためのカウンセリング技法、生徒指導・不登校児童生徒支援研修、特別支援教育研修等、子ども理解のための研修など、教育課題の対応に資する研修を実施する。

2 教科等の指導力向上を目指した研修

教科等の指導力向上を目指し、児童生徒の学力向上のため、各教科において活用型の授業の研修を実施する。また、マイスター教員の公開授業講座等において、若手教員に教育技術の伝達を図る研修を実施する。

(3) 特別に実施する研修

年間計画に当初より予定している研修の他に、緊急性や必要性のある研修を学校園のニーズに応じて研修を実施する。

3 具体的な取り組み

1 教員の資質向上

教員の資質向上を目指すため、4つの「あるべき教師像」を掲げ研修に取り組む。

(1) 子どもに対するあふれる情熱と責任感のある教師

- ・ 校長や教頭、主幹教諭などの職務・職階に対応した研修
- ・ 不登校児童生徒支援や特別支援教育、カウンセリングなどに関する研修
- ・ 栄養教諭や養護教諭などの職責を遂行するための研修
- ・ 子ども理解のための研修
- ・ 人権問題について学ぶための研修

(2) 「わかる授業」を徹底して追究する確かな授業力を持った教師

- ・ 授業力向上のために授業研究を中心とした研修の充実
- ・ 教科の指導力向上をめざした研修
- ・ マイスター教員やベテラン教員の授業等において、若手教員に教育技術の伝達を図る研修の充実

(3) 自分の特性や特技を活かした豊かな専門性を持った教師

- ・ 幼・小・中・特別支援・高等学校の教員の交流や連携を図る研修の充実
- ・ カウンセリングの技法や子ども理解のための研修の充実
- ・ 各教科等に関する研修の充実
- ・ 経験年数に応じた研修

(4) 総合的な人間力を高め、時代の変化や今日的な課題に対処し、柔軟に指導できる教師

- ・ 中堅教員をミドルリーダーに養成するための研修の充実
- ・ 小・中学校の教員が互いの授業を公開し協議するなど、指導方法や教材における小・中連携を図る研修の充実
- ・ 地域との連携を図るため地域を知る研修の充実
- ・ 防災・安全に関する研修
- ・ 今日的課題に対応した研修
- ・ 特別に実施する研修

2 中核市として主体的に研修の充実を図る

中核市として、国や県の動向を考慮しながら尼崎にふさわしい研修を実施していく。

＜初任者研修（法定研修）の充実＞

授業研究を中心に、道德教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営及び接遇に関する事など、教員として必要な基礎を身に付けることをめざす。

初任者が尼崎市での教育活動に情熱を注げるように、尼崎市の地域について学習できる研修を実施する。研修場所は、教育総合センター以外に、学校や消防署、防災センターなど、尼崎の施設をできるだけ利用していく。

＜10年経験者研修（法定研修）の充実＞

グループによる教科指導や生徒指導等の研修から、より実践力を高めるとともに、教育課題を研究することにより専門性を深める。共通研修により、尼崎の課題や展望を見つめ、今後の教育活動に生かしていく。

＜5年次・15年次研修の充実＞

5年次教員研修では、学級経営を含めた指導力や授業力を軸にした研修を実施していく。自分の教育活動を振り返り、若手教員のリーダーとしての自覚を促す。

15年次教員研修では、自己点検を行う時期と捉え、自己管理、自己開発を軸とした研修を実施していく。

＜若手教員研修の充実＞

1年目、2年目、3年目、4年目、5年目教員を対象に授業研究や学級経営の研修を実施していく。グループによる小集団研修やマンツーマン型研修の他、異校種交流研修を含め、授業改善アドバイザーによる訪問研修など、多様な形態で実施する。

＜中堅教員研修の充実＞

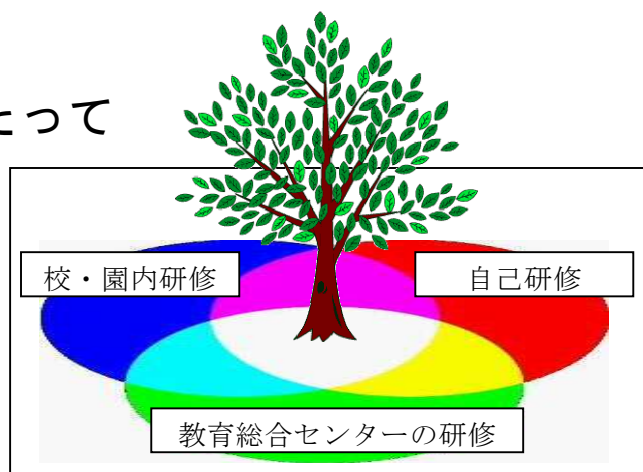
ベテラン教員の退職、若手教員の急増に伴う現状から、中堅教員の育成を目指して、7年目教員を対象にした「中堅教員としての職務」に係る研修の充実を図る。

3 学校・園のニーズに応える

研修に参加した教職員へのアンケートの実施、校・園長に研修への意見・要望の聞きとり、研究会との連携、そして、校・園長の代表者と教育総合センターの研修のあり方を協議する「センター研修事業連絡協議会」（年2回）の実施など、研修へのニーズを多方面から取り入れ、研修事業に生かしていく。

4 研修をすすめるにあたって

研修には、各校・園の実態に即した「校・園内研修」をはじめ、各自の適性に応じて行う「自己研修」、「教育総合センターの研修」等があるが、それらが補完し合って教員の成長を促していく。



1 教育総合センターの研修と校・園内研修の連携

- (1) 授業力向上等に向けて、教育総合センターの研修では、様々な講座を開催し、実践的な研修を実施していく。また、受講した教員は、研修内容を校内に持ち帰り教科部会等において広めることで、多くの教員の授業力向上等をめざす。
- (2) 授業力向上には、熟練した授業を参観することによる効果は大きい。そのために本市のマイスター教員が授業を公開する(マイスター公開授業研修講座)研修を行う。このほか、授業改善アドバイザーや指導主事等が授業を参観し、授業づくりについて支援を行っていくなど、日々の授業に役立つ取組を実施していく。
- (3) 研究部会や研究会の成果を、発表会や紀要によって広く公開し、研究部員等が校内において研究成果の交流を図るなど、技能や知識の共有化を図る。
- (4) わかりやすい授業や校務の情報化を推進していくため、ICT活用などの研修を校内研修において実施していく。

2 教育総合センターの研修と自主研修の連携

- (1) 教員自ら行う自主研修は、資質向上に向けて最もベースとなる活動である。活動グループ、個々のニーズにあった支援を充実する。
- (2) 教育総合センターの情報コーナーにおいて、書籍等で最新の情報やこれまで公開された授業の学習指導案を提供する。また、自主的な研究グループを支援するための研修室を夜間（午後9時）まで開放する。この他、イブニングセミナー等、若手教員を中心とした自主的な研究会を支援する。

5 研修体系図（略図） （→別添参照）

教育総合センターの研修	
基本研修（受講しなければならない研修）	
	職階に応じた研修
	職務に応じた研修
	経験年数に応じた研修
専門研修（希望による研修）	
	教育課題等への対応研修
	教科等の指導力向上を目指した研修
特別に実施する研修	
	特別臨時研修
	自主研修（イブニングセミナー等）



6 教育総合センター研修一覧表

※研修内容は予定です。

種別	中分類	新再設編 ◎ ☆	平成26年度 研修・研修講座名	獲得を目指す資質				内容・領域	対 象	対象校種		
				情 熱 熟 任 ・ 感	授 業 力	専 門 性	対 応 力					
受講しなければならない研修（基本研修）	職に階 にに研 応修		校・園長研修	○			○	学校経営課題	校・園長	全校種		
			新任校・園長研修	第 1 回	○		○	校・園長の職務	新任校・園長	全校種		
				第 2 回	○		○	人権感覚を高める(ハラスメント研修)				
			教頭研修	○				学校経営課題(教員の育成OJT)	教頭	全校種		
		◎	新任教頭研修	第 1 回	○		○	実務に関する対応研修1	新任教頭	全校種		
				第 2 回	○		○	実務に関する対応研修2				
		新任管理職コンピュータ研修				○	ネットワークを利用した校務処理	新任校長・教頭	全校種			
	職務に 応じた 研修	◎	主幹教諭研修	○		○		主幹教諭に求められる資質とその職務	小・中・特の主幹教諭	小・中・特		
		☆	教務担当研修	○		○		教務担当としての職務	小・中・特の教務担当	小・中・特		
		◎	研究担当研修	○		○		校内研究をすすめるために	小・中・特の研究担当	小・中・特		
		◎	生徒指導担当研修	○		○		生徒指導における現状と生徒指導担当の役割	小・中・特の生徒指導担当	小・中・特		
			○ J T 教員研修	○		○		効果的なOJT実践にむけて	小・中・特のOJT教員	小・中・特		
			拠点校指導教員研修	○		○		拠点校指導教員の職務	担当教員	小・中・特		
			養護教諭研修			○		フィジカルアセスメントについて	養護教諭	全校種		
			栄養教諭研修			○		課題解決にむけた研修	栄養教諭・学校栄養職員	全校種		
		☆	特別支援教育コーディネーター研修			○	○	特別支援教育コーディネーターの役割について(重度含む)	特別支援教育コーディネーター	全校種		
		◎	学力向上担当研修			○	○	全国学力学習状況調査問題からわかること1	学力向上担当者	全校種		
								全国学力学習状況調査問題からわかること2				
			外国語活動担当教員研修				○	外国語活動担当教員の職務交流と実践	担当教員	小・特		
			教育用コンピュータシステム管理担当研修				○	教育用コンピュータシステムの管理と運用	担当教員	小・中・高・特		
			防災・安全教育研修				○	○	防災・安全教育について	担当教員	全校種	
	教職年 数に応 じた研 修	★		1 年目教員必修研修	第 1 回	○		○	○	尼崎の教育、接遇、グループ研修①	1 年目教員必修研修対象者	小・中・特
			第 2 回			○	○		教科指導の基本、授業づくり体験研修			
			第 3 回					○	情報教育研修①、情報モラル、校務支援システム	救急救命法、防災・安全教育(講話、施設見学、体験等)		
			第 4 回					○				
			第 5 回		○			○	尼崎養護学校体験(特別支援教育・福祉教育)	生徒指導、児童生徒理解、カウンセリングマインド研修、教育相談スキル		
			第 6 回		○			○				
			第 7 回		○		○	○	人権教育、学級経営(小学校)、クラブ指導(中学校)、グループ研修②			
			第 8 回					○	情報教育研修②、ICTの活用			
			第 9 回		○		○		総合的な学習、地域連携、社会体験フォーラム、グループ研修③			
			第10回			○			道德教育(講話、指導案作成、模擬授業等)			
			第11回		○		○		食育、地域研究発表(グループ)、グループ研修④			
			第12回		○		○		教育実践、1年間のまとめ、グループ研修⑤(まとめ)			
				ステップ・アップ研修(選択)	全 10 回		○		○	学校実務	ステップアップ研修 1 年目教員必修研修対象者(選択)	小・中・特
							○	○		学校の事故防止、授業づくり①		
							○	○		特別活動、授業づくり②		
							○	○		キャリアプランニング、授業づくり③		
							○			公開授業・事後研究会①②		
							○			10年経験者研修の公開授業①②③		
			☆	2 年目教員研修	共通研修(1)		○			授業力向上研修(少人数グループ編成等)	2 年目教員	小・中・特
					共通研修(2)		○			授業力向上研修(少人数グループのまとめ等)		
					個人		○			マンツーマン・グループ研修		
				3 年目教員研修	共通研修(1)		○			指導力向上研修(少人数グループ編成等)	3 年目教員	小・中・特
					共通研修(2)		○			指導力向上研修(少人数グループのまとめ等)		
					個人		○			グループ研修		
		4 年目教員研修		共通研修		○			指導力向上研修(小中連携等)	4 年目教員	小・中・特	
				個人		○			異なる校・園種との連携(TTによる授業及び実践等)		小・中・高・特	
		5 年次教員研修		共通研修		○			授業力・指導力向上研修	5 年目教員	小・中・特	
				選択		○			マイスター教員による公開授業研修講座から1つ選択			
		7 年目教員研修		共通研修(1)	○				中堅教員としての職務(組織としての役割等)	7 年目教員	小・中・特	
				共通研修(2)		○			マイスター教員による公開授業研修講座から1つ選択			
		1 0 年経験者研修		共通研修				○	尼崎の今日的課題に取り組む	10年経験者教員 (11 年目教員)	小・中・特	
				選択			○	○	任意の研修を選択(マイスター教員による公開授業研修講座1つは必修)			
		1 5 年次教員研修		共通研修				○	中堅教員としての資質向上	15 年目教員	小・中・特	
				選択				○	マイスター教員による公開授業研修講座から1つ選択			
			2 0 年目教員研修	選択				○	任意の研修を2つ選択	20 年目教員	小・中・特	
			管外転入教員研修		○			○	本市の課題とこれまでの取り組み	管外転入教員	幼・小・中・特	
			常勤の臨時講師研修	第 1 回	○			○	教員として必要な知識や自覚、服務	2 年目までの常勤の臨時講師・助教諭及び校・園長が認めた者	幼・小・中・特	
				第 2 回					授業力・指導力の向上について			

種別	中分類	新再設編 ◎ ☆	平成26年度 研修・研修講座名		獲得を目指す資質				内容・領域	対象	対象校種
					情 感 熱 心 ・ 感	授 業 力	専 門 性	対 応 力			
希望による研修（専門研修）	教育課題等への対応研修		人権教育研修講座	(1)			○	○	これからの人権教育のめざすもの	全教職員	全校種
				(2)			○	○			
				(3)			○	○			
			特別支援教育研修講座	(1)			○	○	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応	全教職員	全校種
				(2)			○	○	実践事例を通した子ども理解		
		◎	環境教育研修講座				○		環境教育について	全教職員	全校種
			食育研修講座				○		子どもが育つ環境と食育について	全教職員	全校種
			言語力向上研修講座			○			言語感覚を磨く授業について	全教員	全校種
			カウンセリング研修講座	(1)			○	○	カウンセリング入門研修	全教職員	全校種
				(2)			○	○	カウンセリングの基本的な演習		
			生徒指導・不登校児童生徒支援研修講座	(1)			○	○	事例研究を通した子ども理解	全教職員	全校種
				(2)			○	○	不登校児童生徒の理解及び対応		
			学級経営研修講座		○		○	○	学級経営の基本を学ぶ～学級集団づくりについて～	全教員	全校種
			一般教養研修講座				○		民間で活躍する人に学ぶ	全教職員	全校種
			学校飼育動物研修講座				○		小動物の取り扱いについての留意点	全教職員	幼・小・特
			プレゼンテーション研修講座	第1回			○		説明力向上・プレゼンテーション演習 ＊2回連続で受講すること	全教職員	全校種
				第2回			○				
			情報モラル・セキュリティ研修講座	第1回			○		スマートフォン・SNS等の適切な利用について ＊2回のうち1回受講すること	全教職員	全校種
				第2回			○				
			小学校 I C T 活用研修講座			○	○		コンピュータ室の機器を活用した授業について	全教員	小・特
			中学校 I C T 活用研修講座			○	○			全教員	中・特
			校務支援システム活用研修講座	(1)			○		スズキ校務による名簿作成・成績処理について	全教職員	全校種
				(2)			○				
			学校事務支援システム活用研修講座				○	○	学校事務支援システムの活用	事務職員	全校種
			C M S を活用した学校ホームページ作成研修講座	(1)			○		学校・園のホームページ作成研修講座 ＊2回のうち、1つを受講すること	全教職員	全校種
				(2)			○				
	教科等の指導力向上をめざした研修		幼児教育研修講座	(1)		○			あそびで育てる力	全教員	全校種
				(2)	○			○	言葉に対する感覚を養うために		
				(3)		○			音感を楽しみ、感性を育てる		
				(4)		○	○		子どもの「こころ」と「動き」		
			図書館教育研修講座			○	○		学校における多様な読書活動の展開	全教員	全校種
			国語科教育研修講座	(1)		○			(小学校教員向け)言語活動の充実にむけた授業について	全教員	全校種
				(2)		○			(中学校教員向け)言語活動の充実にむけた授業について		
			社会科教育研修講座	(1)		○			(小学校教員向け)情報社会に求められる社会科授業づくり	全教員	全校種
				(2)		○			(中学校教員向け)PISA型読解力向上に向けた実践		
			算数科教育研修講座			○			(小学校教員向け)活用する力を育む指導のポイント	全教員	全校種
			数学科教育研修講座			○			(中学校教員向け)活用する力を育む指導のポイント	全教員	全校種
			理科教育研修講座	(1)		○			(小学校教員向け)おもしろ実験・観察	全教員	全校種
				(2)		○			(中学校教員向け)おもしろ実験・観察		
			生活科教育研修講座			○			(小学校教員向け)子どもと創出する生活科授業デザインの方法	全教員	全校種
			音楽科教育研修講座			○			表現と鑑賞の指導で気をつけておきたいこと	全教員	全校種
			図工・美術科教育研修講座			○			表現と鑑賞の指導で気をつけておきたいこと	全教員	全校種
			体育科教育研修講座	(1)		○			(小学校教員向け)基本の動きを身につけさせる指導	全教員	全校種
				(2)		○			(中学校教員向け)体育指導で気をつけておきたいこと		
				(3)		○			(中学校教員向け)体育指導で気をつけておきたいこと		
		☆	技術科教育研修講座			○			学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善	全教員	全校種
		☆	家庭科教育研修講座			○			学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善	全教員	全校種
			英語科教育研修講座			○			(中学校教員向け)4技能を総合的に育成する指導と評価について	全教員	全校種
		◎	小学校外国語活動指導力UP研修講座	(1)		○			関西国際大学における研修	全教員	全校種
				(2)		○					
				(3)		○					
			道徳教育研修講座	(1)		○	○		(小学校教員向け)魅力ある学級づくりと道徳授業実践	全教員	全校種
				(2)		○	○		(中学校教員向け)魅力ある道徳授業実践		
		◎	ライフスキル教育研修講座	第1回			○		ライフスキル教育の基本的な理論と実践 ＊2回連続で受講すること	全教員	全校種
				第2回			○				
			総合的学習研修講座			○			環境教育をテーマにした授業づくり	全教員	全校種
			特別活動研修講座				○		特別活動の指導のあり方	全教員	全校種
			マイスター教員による公開授業研修講座 (小学校教諭による授業) (中学校教諭による授業)	(1)		○			マイスター教員による公開授業研修講座	・全教員 ・5年目教員、7年目教員、10年経験者教員は8本の講座から1つ選択すること	全校種
				(2)		○					
				(3)		○					
				(4)		○					
				(5)		○					
				(6)		○					
				(7)		○					
				(8)		○					
			教育研究発表会			○	○		教育総合センター研究発表会		
特別に実施する研修	臨研修		特別臨時研修								

7 教職員研修計画内容

※研修内容は予定です。

1 受講しなければならない研修(基本研修)

職階に応じた研修(職階別研修) (実施時期で、夏季は夏季休業中)

研修・講座名		実施時期	目的	内 容	対 象	備考
校・園長研修		6/中旬	管理職として、広い視野と洞察力の上に立つて今後の学校経営の在り方を考える。	学校経営課題	校・園長	講話
新任校・園長研修	第1回	4/17	管理職としての職務(学校経営、管理運営、職員育成)について理解を深め、望ましい学校・園経営の在り方を考える。	校・園長の職務	新任校長 新任園長	講話
	第2回	7月		人権感覚を高める (ハラスメント研修)		講話 及び 演習
教頭研修		夏季	管理職としての職務について理解を深め、効果的な学校経営の在り方を考える。	学校経営課題(教員の育成OJT)	教頭	講話
新任教頭研修	第1回	5月	管理職としての基礎的な実務について理解を深める。	実務に関する対応研修1	新任教頭	講話 及び 演習
	第2回	6月		実務に関する対応研修2		講話 及び 演習
新任管理職コンピュータ研修		4月	情報社会に対応した基本的資質と指導力を養うとともに、尼崎市学校情報通信ネットワークシステムの有効利用を図る。	ネットワークを利用した校務処理	新任校長 新任教頭	演習

職務に応じた研修(職務別研修)

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
主幹教諭研修		夏季	主幹教諭の職務に対する理解を深め、学校全体をコーディネートする力やリーダーシップの向上を図る。	主幹教諭に求められる資質とその職務	小・中・特の主幹教諭	講話
教務担当研修		夏季	教務担当者の職務と職責を学ぶ。	教務担当としての職務	小・中・特の教務担当	
研究担当研修		8/9	校内研究の効果的な進め方について学ぶ。	校内研究をすすめるために	小・中・特の研究担当	
生徒指導担当研修		5/23	生徒指導上の課題について、組織的に対応する力の向上を図る。	生徒指導における現状と生徒指導担当の役割	小・中・特の生徒指導担当	
OJT教員研修		5/15	初任者と指導員の相互理解を深め、OJT指導員の指導力の向上を図る。	効果的なOJT実践にむけて	小・中・特のOJT教員	
拠点校指導教員研修		1学期	初任者の授業力向上を図るための指導力を身につける。	拠点校指導教員の職務	担当教員	
養護教諭研修		夏季	学校保健の中核的役割としての職務を理解し、現代的な健康課題への対応力を高める。	フィジカルアセスメントについて	養護教諭	
栄養教諭研修		夏季	食物アレルギー事故防止の知識を習得し、緊急時の対応など、校内の体制について学ぶ。	課題解決にむけた研修	栄養教諭 学校栄養職員	
特別支援教育コーディネーター研修		夏季	特別支援教育についての理解を深め、コーディネーターとしての指導力の充実を図る。	特別支援教育コーディネーターの役割について（重度含む）	特別支援教育コーディネーター	
学力向上担当研修	(1)	夏季	調査問題の結果をもとに指導方法の改善を図る	全国学力学習状況調査問題からわかること1	学力向上担当者	
	(2)	11月		全国学力学習状況調査問題からわかること2		
外国語活動担当教員研修		6月	小学校外国語活動の基本理念を知り、研修計画立案等に役立てる。	外国語活動担当教員の職務・交流と実践	外国語活動担当教員	講話 及び 演習
教育用コンピュータシステム管理担当研修		未定	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに、管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用	小・中・高・特別支援学校の教育用コンピュータ管理担当教員	
防災・安全教育研修		未定	防災・安全教育についての理解を深め、安全教育担当教員としての指導力の充実を図る。	防災・安全教育について	安全教育担当教員 （全校種）	

経験年数に応じた研修（経験年数別研修）

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
1 年目教員必修研修	第 1 回	4/22	本市の教員としての自覚を促し、教員としての資質・技能の向上と実践への意欲を高める。	尼崎の教育、接遇、グループ研修①	幼・小・中・高・特別支援学校の初任者研修対象者	講話及び演習
	第 2 回	5/27		教科指導の基本、授業づくり体験研修	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者	
	第 3 回	6/17 6/24		情報教育研修①、情報モラル、校務支援システム		
	第 4 回			救急救命法、防災・安全教育（講話、施設見学、体験等）		
	第 5 回	7/1 9/30 10/28		尼崎養護学校体験（特別支援教育・福祉教育）		
	第 6 回			生徒指導、児童生徒理解、カウンセリングマインド研修、教育相談スキル		
	第 7 回	7/29		人権教育、学級経営（小学校）、クラブ指導（中学校）、グループ研修②		
	第 8 回	8/5 8/26		情報教育研修②、I C T の活用		
	第 9 回	10/21		総合的な学習、地域連携、社会体験フォーラム、グループ研修③		
	第 10 回	11/18		道徳教育（講話、指導案作成、模擬授業等）		
	第 11 回	12/2		食育、地域研究発表（グループ）、グループ研修④		
	第 12 回	2/3		教育実践、1 年間のまとめ、グループ研修⑤（まとめ）		

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
ステップ・アップ研修	全10回	5/20	今日的教育課題について、実践的に学びスキルアップを図る。	学校実務	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者(選択)	講話及び実習
		6/3	今日的教育課題について、実践的に学びスキルアップを図る。	学校の事故防止、授業づくり①		
		7/22	今日的教育課題について、実践的に学びスキルアップを図る。	特別活動、授業づくり②		
		9/9	今日的教育課題について、実践的に学びスキルアップを図る。	キャリアプランニング、授業づくり③		
		11/4 11/25	今日的教育課題について、実践的に学びスキルアップを図る。	公開授業・事後研究会①②		
		10/7 11/11 1/20	教育課題を実践的に学び、指導案の作成を中心にスキルアップを図る。	10年経験者研修の公開授業①②③		
		2/10	教員としての自覚を促し、教育課題を実践的に学びスキルアップを図る。	学級経営、研究発表会		
2年目教員研修	7月～2月		各教科の教育理論と実践の統合を図り、創造的な教育活動の指導力を高める。	授業力向上研修 (少人数グループ編成等)	小・中・特別支援学校の2年目教員	講話及び演習
			各教科の教育理論と実践の統合を図り、創造的な教育活動の指導力を高める。	授業力向上研修 (少人数グループのまとめ等)		授業
			個別の指導により、個人の課題に応じて確かな指導力を身につける。	マンツーマン・グループ研修		
3年目教員研修	7月～2月		教科外の教育理論と実践の統合を図り、創造的な教育活動の指導力を高める。	指導力向上研修 (少人数グループ編成等)	小・中・特別支援学校の3年目教員	講話及び演習
			教科外の教育理論と実践の統合を図り、創造的な教育活動の指導力を高める。	指導力向上研修 (少人数グループのまとめ等)		授業
			教科外の教育理論と実践の統合を図り、創造的な教育活動の指導力を高める。	グループ研修		
4年目教員研修	7月～2月		各教科の教育理論と実践の統合を図り、創造的な教育活動の指導力を高める。	指導力向上研修 (小中連携等)	小・中・特別支援学校の4年目教員	講話
			異なる校・園種の子どもや教職員との連携を図ることにより、他校・園種の教育活動を学ぶ。	異なる校・園種との連携 (TTによる授業及び実践等)	幼・小・中・高・特別支援学校の4年目教員	授業
5年次教員研修	夏季		これまでの教育実践を踏まえ、指導力向上を図るとともに各自の課題を把握し今後の教員生活の充実に資する。	授業力・指導力向上研修	小・中・特別支援学校の5年目教員(養護及び栄養教諭含)	講話及び演習
	7月～2月		これまでの教育実践を踏まえ、指導力向上を図るとともに各自の課題を把握し今後の教員生活の充実に資する。	マイスター教員による公開授業研修講座から1つ選択	小・中・特別支援学校の5年目教員	
7年目教員研修	5月～7月		多くの対象教員が、採用後2校目を経験するにあたり、中堅教員としての意識の確立や職務について学ぶ。	中堅教員としての職務(組織としての役割等)	小・中・特別支援学校の7年目教員	
	7月～2月		これまでの教育実践を踏まえ、指導力向上を図るとともに各自の課題を把握し今後の教員生活の充実に資する。	マイスター教員による公開授業研修講座から1つ選択		

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備 考
10年経験者研修		5月	個々の能力や適性、ニーズに応じて研修を実施し、指導力向上など教員としての資質の向上を図る。	尼崎の今日的課題に取り組む	小・中・特別支援学校の10年経験者(11年目)	講話及び演習
		7月～2月	個々の能力や適性、ニーズに応じて研修を実施し、指導力向上など教員としての資質の向上を図る。	任意の研修を選択（マイスター教員による公開授業研修講座1つは必修）		
15年次教員研修		夏季	中堅教員として多様化する教育課題に適切に対応できる広い視野と実践的指導力を身につける。	ミドルリーダーとしての資質向上（今日的な教育課題等）	小・中・特別支援学校の15年目教員（養護及び栄養教諭含）	講話及び演習
		7月～2月	管理職と教職員とをつなぐ役割についての理解を深め、効果的な進め方について学ぶ。	マイスター教員による公開授業研修講座から1つ選択	小・中・特別支援学校の15年目教員	
20年目教員研修		通年	これからの教育課題を理解し、中堅教員として教育の理論と広い視野を身につける。	任意の研修を2つ選択	小・中・特別支援学校の20年目教員（養護及び栄養教諭含）	
管外転入教員研修		5月	本市の教育の現状と課題について理解し、実践への意欲と教員としての自覚を高める。	本市の教育課題とこれまでの取組	管外転入教員	講話
常勤の臨時講師研修	(1)	6月	職務を遂行する上で必要な知識や教員としての資質を身につける。	教員として必要な知識や自覚、職務	2年目までの常勤の臨時講師・助教諭及び校・園長が認めた者	講話及び演習
	(2)	10月		授業力・指導力の向上について		

2 希望による研修(専門研修)

教育課題等への対応研修

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備考	
人権教育研修講座	(1)	夏季	教育の本質に根ざした人権教育を推進するため、人権にかかわる教育課題に対する理解を深め、指導力の向上を図る。	これからの人権教育のめざすもの	全教職員	講話	
	(2)						
	(3)						
特別支援教育研修講座	(1)	6／	教育的支援を要する子どもたちの教育における理論と実践について、理解を深める。	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応			
	(2)		実践事例を通した子ども理解				
環境教育研修講座			環境モデル都市として、学校教育における取り組み方等について学ぶ。	環境教育について			
食育研修講座			子ども達の生きる力の基礎となる「食育」の積極的な推進を図る。	子どもが育つ環境と食育について			
言語力向上研修講座			言語力と言語感覚を磨くための授業を学び、指導力の向上を図る。	言語感覚を磨く授業について			全教員
カウンセリング研修講座	(1)	夏季	児童生徒への理解を深め、教職員のカウンセリングマインドの向上を図る。	カウンセリング入門研修			全教職員
	(2)			カウンセリングの基本的な演習			
生徒指導・不登校児童生徒支援研修講座	(1)		児童生徒の問題行動や不登校の児童生徒の実態を把握し、支援の在り方について、理解を深める。	事例研究を通した子ども理解			
	(2)	不登校児童生徒の理解及び対応					
学級経営研修講座			子どもたちの学校生活の基本となる学級について、経営に関する基本的な事項を確認し、指導力の向上を図る。	学級経営の基本を学ぶ ～学級集団づくりについて～			全教員
一般教養研修講座			社会の動向等、教育界だけでなく他の領域の知恵に学び、視野を広げる。	民間で活躍する人に学ぶ			
学校飼育動物研修講座		6/	学校内での飼育動物について、管理や繁殖、施設や環境を知り、幼児・児童によりよい体験を与える環境について学ぶ。	小動物の取り扱いについての留意点	全教職員	講話 及び 演習	
プレゼンテーション活用研修講座	第1回	夏季	教育活動に活かすための基本的なプレゼンテーション技能を習得する。	説明力向上・プレゼンテーション演習 ＊2回連続で受講すること	全教職員		
	第2回						
情報モラル・セキュリティ研修講座	第1回		情報モラル指導及び情報漏洩対策のための基本的な知識技能を修得する。	スマートフォン・SNS等の適切な利用について			
	第2回						
小学校ICT活用研修講座				授業においてICTを効果的に活用する方法について研修し、指導力向上を図る。	コンピュータ室の機器を活用した授業について	全教員	
中学校ICT活用研修講座							
校務支援システム活用研修講座	(1)			校務支援システムの活用方法を習得し、効率的かつ円滑な業務の遂行を図る。	スズキ校務による名簿作成・成績処理等について＊2回のうち、1つを受講すること	全教職員	
	(2)						
学校事務支援システム活用研修講座			1月	学校事務処理支援システムの活用方法を習得し、効率的かつ円滑な業務の遂行を図る。	学校事務支援システムの活用	事務職員	
CMSを活用した学校ホームページ作成研修講座	(1)		夏季	学校園のホームページに特化して、適切な情報発信を考える。	学校・園のホームページ作成研修講座＊2回のうち、1つを受講すること	全教職員	
	(2)						

教科等の指導力向上をめざした研修（授業力向上研修講座）

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
幼児教育研修講座	(1)	夏季	幼児教育についての理解を深め、保育実践における指導の充実を図る。	遊びで育てる力	全教員	講話及び演習
	(2)			言葉に対する感覚を養うために		
	(3)			音感を楽しむ感性を育てる		
	(4)			子どもの「こころ」と「動き」		
図書館教育研修講座			子どもの読書習慣の確立や読書指導の充実を図る。	学校における多様な読書活動の展開		
国語科教育研修講座	(1)		国語科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) 言語活動の充実に向けた授業について		
	(2)			(中学校教員向け) 言語活動の充実に向けた授業について		
社会科教育研修講座	(1)		社会科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) 情報社会に求められる社会科授業づくり		
	(2)			(中学校教員向け) P I S A型読解力向上に向けた実践		
算数科教育研修講座			新しい教育課題に取り組み、児童の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) 活用する力を育む指導のポイント		
数学科教育研修講座		5/20	数学に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(中学校教員向け) 活用する力を育む指導のポイント		
理科教育研修講座	(1)	夏季	理科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) おもしろ実験・観察で育む	全教員	講話及び演習
	(2)			(中学校教員向け) おもしろ実験・観察で育む		
生活科教育研修講座			実践例を通して学習活動の場づくりについて理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) 子どもと創出する生活科授業デザインの方法		
音楽科教育研修講座			表現・鑑賞の活動を通して、音楽の基礎的な指導技術を学び、指導力の向上を図る。	表現と鑑賞の指導について		
図工・美術科教育研修講座			図工・美術科に関する専門性を深めるとともに、造形的な創作活動について研修し、指導力の向上を図る。	表現と鑑賞の指導について		
体育科教育研修講座	(1)		体育科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す実技指導の技術を身につけ、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) 基本の動きを身につけさせる指導		
	(2)			(中学校教員向け) 体育指導で気をつけておきたいこと		
	(3)			(中学校教員向け) 体育指導で気をつけておきたいこと		
技術科教育研修講座			技術科の授業実践を図る技術を取得する。	学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善		
家庭科教育研修講座			家庭科の授業実践を図る技術を取得する。	学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善		
英語科教育研修講座			英語科指導に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し指導力の向上を図る。	4技能を総合的に育成する指導と評価について		
小学校外国語活動指導力UP研修講座	(1)	8/4	小学校英語活動の指導内容と方法について研修し、指導力向上を図る。	関西国際大学で学ぼう		
	(2)					
	(3)					
道徳教育研修講座	(1)	8/5	児童生徒の心情を大切にする授業の在り方について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) 魅力ある学級づくりと道徳授業実践		
	(2)			(中学校教員向け) 魅力ある道徳授業実践		
ライフスキル教育研修講座	第1回	8/4	児童生徒が日常体験する困難を上手にのりこえるために必要な考え方やその指導方法を体系的に学ぶ。	ライフスキル教育の基本的な理論と実践 ＊2日連続で受講すること		
	第2回	8/5				
総合的学習研修講座		夏季	「総合的な学習の時間」のねらいを踏まえ、学校の実態に応じた学習活動について理解を深め、指導力の向上を図る。	地域をテーマにした授業づくり		
特別活動研修講座			特別活動の指導内容と方法について研修し、指導力向上を図る。	特別活動の指導のあり方		
マイスター教員による公開授業研修講座 (小学校教諭による授業) (中学校教諭による授業)	(1)～(8)	7月～2月	見本となる授業とその研究協議を通して、個々の授業力や指導力を高める。	マイスター教員による公開授業研修講座	・全教員 ・5年目教員、7年目教員、10年経験者教員は8本の講座から1つ選択すること	授業及び講話
教育研究発表会		2/10	研究成果を発表し、学校・園及び関係機関での研究推進と教育実践の参考に資する。	教育総合センター研究発表会	全教員	講話及び発表

8 視聴覚センターの研修・普及事業

研修事業

◇ 16ミリ映写機操作技術講習

目 的	16ミリ映写機の基礎知識及び操作技術の習得を図る。
対 象	18歳以上の市内在住・在学及び在勤者
回 数	2回 平成26年7月下旬・10月中旬
内 容	講話「16ミリフィルムと映写機」 映画「16ミリ映写機の原理と構造」 実技「16ミリ映写機の操作」

◇ 視聴覚室等機器操作講習会

目 的	視聴覚機器(教育総合センター視聴覚室)の操作技術の習得を図る。
対 象	視聴覚センター利用希望者
回 数	随 時
内 容	講話と演習「視聴覚機器の操作法」 音声ーマイク、カセットレコーダー 映像ービデオカメラ、ビデオプロジェクター等

9 研修・研修講座分担一覧

種別	中分類	平成26年度 研修・研修講座名		内容・領域	主たる担当者									
					桑野	鵜原	西田	相方	柳	土高	大森	東江	細間	太田
受講しなければならない研修（基本研修）	職階に応じた研修	校・園長研修		学校経営課題研修		○								
		新任校・園長研修	第1回	校・園長の職務				○						
			第2回	人権感覚を高める（ハラスメント研修）				○						
		教頭研修		学校経営課題（教員の育成OJT）				○						
		新任教頭研修	第1回	実務に関する対応研修1			○							
			第2回	実務に関する対応研修2			○							
		新任管理職コンピュータ研修		ネットワークを利用した校務処理							○	○		
	職務に応じた研修	主幹教諭研修		主幹教諭に求められる資質とその職務		○								
		教務担当研修		教務担当としての職務				○						
		研究担当研修		校内研究をすすめるために					○					
		生徒指導担当研修		生徒指導における現状と生徒指導担当の役割					○					
		OJT教員研修		効果的なOJT実践にむけて					○					
		拠点校指導教員研修		拠点校指導教員の職務		○								
		養護教諭研修		フィジカルアセスメントについて		○								
		栄養教諭研修		課題解決にむけた研修		○								
		特別支援教育コーディネーター研修		特別支援教育コーディネーターの役割について（重度含む）					○					
		学力向上担当研修		全国学力学習状況調査問題からわかること1	○									
				全国学力学習状況調査問題からわかること2	○									
		外国語活動担当教員研修		外国語活動担当教員の職務交流と実践				○						
		教育用コンピュータシステム管理担当研修		教育用コンピュータシステムの管理と運用						○	○	○		
		防災・安全教育研修		防災・安全教育について			○							
	教職年数に応じた研修	1年目教員必修研修	第1回	尼崎の教育、接遇、グループ研修①					○					
			第2回	教科指導の基本、授業づくり体験研修		○								
			第3回	情報教育研修①、情報モラル、校務支援システム							○	○		
			第4回	救急救命法、防災・安全教育（講話、施設見学、体験等）					○					
			第5回	尼崎養護学校体験（特別支援教育・福祉教育）		○								
			第6回	生徒指導、児童生徒理解、カウンセリングマインド研修、教育相談スキル					○					
			第7回	人権教育、学級経営（小学校）、クラブ指導（中学校）、グループ研修②		○								
			第8回	情報教育研修②、ICTの活用							○	○		
			第9回	総合的な学習、地域連携、社会体験フォーラム、グループ研修③					○					
			第10回	道徳教育（講話、指導案作成、模擬授業等）		○								
			第11回	食育、地域研究発表（グループ）、グループ研修④					○					
			第12回	教育実践、1年間のまとめ、グループ研修⑤（まとめ）		○								
		ステップ・アップ研修（選択）	全10回	学校実務					○					
				学校の事故防止、授業づくり①		○								
				特別活動、授業づくり②					○					
				キャリアプランニング、授業づくり③		○								
				公開授業・事後研究会①②					○					
				10年経験者研修の公開授業①②③		○								
				学級経営、研究発表会					○					
		2年目教員研修	共通研修(1)	授業力向上研修（少人数グループ編成等）				○						
			共通研修(2)	授業力向上研修（少人数グループのまとめ等）										
			個人	マンツーマン・グループ研修										
		3年目教員研修	共通研修(1)	指導力向上研修（少人数グループ編成等）				○						
			共通研修(2)	指導力向上研修（少人数グループのまとめ等）										
			個人	グループ研修										
		4年目教員研修	共通研修	指導力向上研修（小中連携等）			○							
			個人	異なる校・園種との連携（TTIによる授業及び実践等）			○							

種別	中分類	平成26年度 研修・研修講座名		内容・領域	主たる担当者									
					桑野	鵜原	西田	相方	柳	土高	大森	東江	細間	太田
受講しなければならない研修（基本研修）		5年目教員研修	共通研修	授業力・指導力向上研修		○								
			選択	マイスター教員による公開授業研修講座から1つ選択										
		7年目教員研修	共通研修(1)	中堅教員としての職務		○								
			共通研修(2)	マイスター教員による公開授業研修講座から1つ選択										
		10年経験者研修	共通研修	尼崎の今日的課題に取り組む				○						
			選択	任意の研修を選択（マイスター教員による公開授業研修講座1つは必修）										
		15年目教員研修	共通研修	中堅教員としての資質向上（実践交流）				○						
			選択	マイスター教員による公開授業研修講座から1つ選択										
		20年目教員研修	選択	任意の研修を2つ選択				○						
			選択											
		管外転入教員研修		本市の課題とこれまでの取り組み					○					
希望による研修（専門研修）		常勤の臨時講師研修	第1回	教員として必要な知識や自覚、服務		○								
			第2回	授業力・指導力の向上について										
		人権教育研修講座	(1)	これからの人権教育のめざすもの		○								
			(2)											
			(3)											
		特別支援教育研修講座	(1)	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応					○					
			(2)	実践事例を通じた子ども理解										
		環境教育研修講座		環境教育について					○					
		食育研修講座		子どもが育つ環境と食育について		○								
		言語力向上研修講座		言語感覚を磨く授業について				○						
		カウンセリング研修講座	(1)	カウンセリング入門研修				○						
			(2)	カウンセリングの基本的な演習				○						
		生徒指導・不登校児童生徒支援研修講座	(1)	事例研究を通じた子ども理解				○						
			(2)	不登校児童生徒の理解及び対応				○						
		学級経営研修講座		学級経営の基本を学ぶ～学級集団づくりについて～				○						
		一般教養研修講座		民間で活躍する人に学ぶ				○						
		小学校ICT活用研修講座		コンピュータ室の機器を活用した授業について							○	○		
		中学校ICT活用研修講座									○	○		
		学校飼育動物研修講座		小動物の取り扱いについての留意点				○						
		プレゼンテーション研修講座	第1回	説明力向上・プレゼンテーション演習								○		
			第2回	*2回連続で受講すること								○		
		情報モラル・セキュリティ研修講座	(1)	スマートフォン・SNS等の適切な利用について							○			
			(2)	*2回のうちの1つを受講する							○			
		CMSを活用した学校ホームページ作成研修講座	(1)	学校・園のホームページ作成								○		
			(2)	*2回のうちの1つを受講する								○		
		学校事務支援システム活用研修講座		学校事務支援システムの活用							○			
		校務支援システム活用研修講座	第1回	スズキ校務による名簿作成・成績処理について							○	○		
			第2回	*2回のうち1つを受講すること							○	○		
		道徳教育研修講座	(1)	（小学校教員向け）魅力ある学級づくりと道徳授業実践					○					
			(2)	（中学校教員向け）魅力ある道徳授業実践		○								
		国語科教育研修講座	(1)	（小学校教員向け）言語活動の充実に向けた授業について				○						
			(2)	（中学校教員向け）言語活動の充実に向けた授業について		○								
		社会科教育研修講座	(1)	（小学校教員向け）情報社会に求められる社会科授業づくり				○						
			(2)	（中学校教員向け）PISA型読解力向上に向けた実践		○								
		図書館教育研修講座		学校における多様な読書活動の展開					○					
		算数科教育研修講座		（小学校教員向け）活用する力を育む指導のポイント				○						
		数学科教育研修講座		（中学校教員向け）活用する力を育む指導のポイント				○						
		英語科教育研修講座		（中学校教員向け）4技能を総合的に育成する指導と評価について				○						

種別	中分類	平成26年度 研修・研修講座名		内容・領域	主たる担当者									
					桑野	鵜原	西田	相方	柳	土高	大森	東江	細間	太田
希望による研修（専門研修）		理科教育研修講座	(1)	(小学校教員向け)おもしろ実験・観察			○							
			(2)	(中学校教員向け)おもしろ実験・観察			○							
		生活科教育研修講座		(小学校教員向け)生活科授業デザインの方法とその実際				○						
		幼児教育研修講座	(1)	あそびで育てる力					○					
			(2)	言葉に対する感覚を養うために										
			(3)	音を楽しみ、感性を育てる										
			(4)	子どもの「こころ」と「動き」										
		音楽科教育研修講座		表現と鑑賞の指導について			○							
		図工・美術科教育研修講座		表現と鑑賞の指導について			○							
		体育科教育研修講座	(1)	(小学校教員向け)基本の動きを身につけさせる指導			○							
			(2)	(中学校教員向け)体育指導で気をつけておきたいこと										
			(3)	(中学校教員向け)体育指導で気をつけておきたいこと										
		技術科教育研修講座		学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善			○							
		家庭科教育研修講座		学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善			○							
		小学校外国語活動指導力UP研修講座	(1)	(小学校教員向け)基本的動きを身につけさせる指導				○						
			(2)	関西国際大学における研修										
			(3)											
		ライフスキル教育研修講座	第1回	ライフスキル教育の基本的な理論と実践			○							
			第2回	* 2日連続で受講すること										
		総合的学習研修講座		地域をテーマにした授業づくり				○						
		特別活動研修講座		特別活動の指導のあり方		○								
		マイスター教員による公開授業研修講座 (小学校教諭による授業) (中学校教諭による授業)	(1)	マイスター教員による公開授業研修講座			○							
			(2)											
			(3)					○						
			(4)											
			(5)				○							
			(6)			○								
			(7)						○					
			(8)					○						
		教育研究発表会		教育総合センター研究発表会	○					○				
特別に実施する研修	臨時研修	特別臨時研修			○									

10 文科省・県教委等の実施する研修一覧

	研修名・講座名	対象
文部科学省 独立行政法人 教員研修 センター	中央研修	全校園種教員
	海外派遣研修	
	特別研修	
県立特別支 援教育セン ター	新任特別支援学級担当教員等研修	小・中学校の新任特別支援学級担当教員 及び新任通級指導担当教員
	基礎研修	特別支援学校及び幼・小・中・高等学校 教員
	実技研修	小・中学校の特別支援教育担当教員
	課題別研修	特別支援学校及び小・中学校の特別支援 教育担当教員
	学校訪問研修	小・中・特別支援学校教員
県立教育研 修所	一般研修講座	全校園種教員
	職務研修講座	
	自由研修	
県教委(阪神 教育事務所) 等主催	学校経営研修講座	平成26(2014)年度採用小・中・特別支援 学校校長
	学校管理職・教育行政職特別研修	平成26(2014)年度採用小・中・特別支援 学校教頭
	阪神地区学校経営研究協議会(校長)	小・中・特別支援学校校長
	阪神地区学校経営研究協議会(教頭)	小・中・特別支援学校教頭
	県立学校管理職(校長)研究協議会	高等学校校長
	県立学校管理職(教頭)研究協議会	高等学校教頭
	県立学校新任校長学校経営研修講座	平成26(2014)年度採用高等学校校長
	初任者研修(一部の講座に参加)	幼・小・中・特別支援・高等学校初任者 教員
	10年経験者研修(一部の講座に参加)	平成16(2004)年度採用小・中・特別支 援・高等学校教員
	養護教諭栄養教諭経験者研修(新規採用10年次)	平成17(2005)年度採用小・中・特の10年 目養護教諭栄養教諭
	教職経験者研修(中堅教員)(15年研修)	平成12(2000)年度採用小・中・特別支援 学校教員
	5年・15年次高校教員研修講座	平成22(2010)・12(2000)年度採用高等学 校教員
	公立学校臨時的任用教員及び任用候補者講習会	臨時的任用教員
	兵庫教育大学大学院派遣	小・中・特別支援・高等学校教員
	長期研修休業制度	小・中・特別支援・高等学校(県費)教員
	指導力向上研究支援事業	小・中・特別支援・高等学校(県費)教員

11 平成25年度 研修報告

1 受講しなければならない研修

職階に応じた研修

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
校・園長研修		25	5	1	講話	「叱る」生徒指導実践 ーカウンセリングを活かすー	兵庫教育大学名誉教授 神戸カウンセリング教育研究所	上地 安昭	80
新任校・園長研修	第1回		4	18		大局と足もとを踏まえた学校経営を	尼崎市教育委員会 教育長	徳田 耕造	18
	第2回		7	24		信頼を築く学校運営のために ーハラスメント対策とストレス管理ー	NPO法人えむ・コム ミューズ代表 人材開発・キャリア コンサルタント	中田 真理子	15
教頭研修			8	8		三つの視点からみた“教頭先生”	尼崎市教育委員会 教育委員長	濱田 英世	68
新任管理職 コンピュータ研修			4	15 16 18	講話 演習	ネットワークを利用した校務処理	教育総合センター 指導主事	民谷 洋二	22

職務に応じた研修

研修・研修講座名		年	月	日	研修の 形態	テーマ	講師の所属・ 役職	講師の氏名	受講者数
ミドルリーダー研修	第 1 回	25	7	22	講話 演習	学校組織マネジメントの考え方と進め方	兵庫教育大学 教職大学院教授	浅野 良一	114
	第 2 回		8	6	講話	今さら聞けない！次世代育成処世術	経営人事教育 システム代表	下山 学	110
	第 3 回		8	19	講話 演習	小中連携へのニーズと課題	兵庫県立大学 准教授	保坂 裕子	79
教務主任研修（１）			8	29	講話	教務主任に望むこと ～学校教育課程を視点に～	阪神教育事務所 スーパーティー チャー	中島 秀五	37
教務主任研修（２）			8	9	講話	教務主任に望むこと ～学校運営に参画する立場として～	兵庫県教育委員会 学校支援チーム相談 員	井上 公哉	10
外国語活動担当教員研修			7	26	講話 演習	外国語活動を活動的に ～We're good friends!の授業から～	関西大学外国語学部 教授	今井 裕之	34
拠点校指導教員研修			4	30	講話 演習	拠点校指導教員研修	教育総合センター 指導主事	仁科 良久	22
養護教諭研修 栄養教諭研修			6	19	講話	学校におけるアレルギー疾患に関する 対応について	神戸市立医療セン ター中央市民病院 小児科 医長	岡藤 邦夫	120
防災・安全教育研修			8	6	講話	実践例から学ぶ 安心・安全な学校 づくり	大阪教育大学 附属池田小学校 主幹教諭	井上 伸一	87
特別支援教育コーディネ ーター研修（１）			6	6	講話	「インクルーシブ教育」 ～交流及び共同学習について～	関西国際大学 教育学部 教授	中尾 繁樹	70
特別支援教育コーディネ ーター研修（２）			8	9	講話	特別支援教育コーディネーターとし ての役割～センター校との協働～	兵庫県立阪神特別支 援学校 校長	紅山 修	69
教育用コンピュータシ ステム管理担当研修			4	26	講話 演習	教育用コンピュータシステムの管理 と運用	教育総合センター 総括担当係長 教育総合センター 指導主事	土高 伸也 民谷 洋二 大森 康充	69
OJT指導員研修			7	26	講話 演習	学校の組織的取組におけるメンタリ ングの役割	奈良教育大学 教職大学院 教授	小柳 和喜雄	72

教職経験年数に応じた研修

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
1 年目教員 必修研修	第 1 回	25	4	23	講話	尼崎の教育、グループ研修 他	都市魅力創造発信課課長	吉田 淳史	104
	第 2 回		5	28	体験	尼崎養護学校体験	尼崎養護学校校長・教頭・教諭	藤本 彰教他	95
			6	4					
	第 3 回		6	18	講話	生徒指導の考え方と進め方	教育委員会 生徒指導特別支援 総括担当係長	高橋 利浩	92
						コミュニケーションとは何か？ ～社会人としてのコミュニケーション力を考える～	尼崎市 顧問	船木 成記	
	第 4 回		7	2	講話 演習	「救命・救急法を学ぶ」	北消防署	署員	92
					講話 演習	「集団活動の指導について」	教育総合センター 研修担当係長 教育総合センター 指導主事	桑野 光枝 仁科 良久	
	第 5 回		7	30	講話	あーよかったな、あなたがいて一つ なかりと感動を合言葉にー	尼崎市教育委員	仲島 正教	
						尼崎市の食育推進について	保健所 健康増進課	長谷川 まゆみ	
						小学校給食について	学校保健課 給食担当	亀谷 麻紀	
						尼崎市の中学校の昼食について	学校保健課 係長	川村 真紀	
						食物アレルギーの対応について	学校保健課 指導主事	濱口 真由美	
	第 6 回		8	6	演習	情報教育研修①（小学校）	教育総合センター 指導主事	大森 康充	63
					演習	情報教育研修①（中学校）	教育総合センター 指導主事	民谷 洋二	31
	第 7 回		10	1	講話 演習	「あまけん」の実践	株式会社地域環境計画研究所 代表取締役	綱本 武雄	94
	第 8 回		10	15	講話 演習	道徳教育	県立教育研修所 課長	馬場 勝	91
							県立教育研修所 主任指導主事	大西 ゆかり	
							県立教育研修所 指導主事	堀井 美佐 竹原 一典 早瀬 幸二	
	第 9 回		11	5	講話 演習	尼崎の防災対策について	総務局防災対策課 課長補佐 尼崎市防災センター 防災指導員	小黒 岳士 他 6 名	91
1 年目教員 必修研修	第 10 回	11	26	講話	学校におけるコミュニケーションを 良好にするために	元成徳小学校 校長	枝根 富子	93	
				講話	クラブ指導について	大庄北中学校 校長	中 俊弘		
				パネルディス カッション	社会体験フォーラム	教育総合センター 指導員	太田 和樹		
				講話	市民として社会に参加すること ～例えば、ボランティア～	神戸ライトセンター 運営協議会 代表	海士 美雪		
1 年目教員 必修研修	第 11 回	25	12	3	講話 演習	情報教育研修②（小学校）	教育総合センター 指導主事	大森 康充	61
		26	1	29					
	第 12 回	25	12	3	講話 演習	情報教育研修②（中学校）	教育総合センター 指導主事	民谷 洋二	32
		26	2	4	講話	新鮮で安心な野菜を作り続けるとい うこと～日本一への挑戦～	小寺農園 代表	小寺 清隆	92
演習	グループ別研修（全体地域研究発表 及び初任者研修のまとめ）				指導主事				

ステップ・アップ研修 (選択)	(1)	25	5	21	講話 演習	授業設計について	教育総合センター 研修担当係長	桑野 光枝	35
						学校実務について	教育総合センター 指導主事	仁科 良久	
	(2)		7	23		こどもの想い、親の願い	子育て支援サークル	森本 由紀	38
						授業づくりの視点について	教育総合センター 研修担当係長	桑野 光枝	
	(3)		9	10		授業づくりについて ～発問や評価をとおして～	教育総合センター 研修担当係長	桑野 光枝	61
						事故防止～理科実験を中心に～	教育総合センター 指導員	太田 和樹	
	(4)		9	24		授業づくりについて	学校教育課 授業改善アドバイザー	倉橋 忠	28
	(5)		10	22		授業づくりについて	教育総合センター 指導主事	細間 亜季	33
	(6)	10	29	研究授業ってどう見るの？		教育総合センター 指導主事	仁科 良久	19	
				授業研究の仕方、研究授業の見方		教育総合センター 指導員	柳 伸彦	25	
	(7)	11	19	目標達成のための授業展開や手立て	教育総合センター 指導員	太田 和樹	33		
	(8)	12	10	研究授業の見方	教育総合センター 指導主事	仁科 良久	23		
				授業の視点について	教育総合センター 指導員	柳 伸彦	24		
	(9)	26	1	21	授業改善のポイントについて	教育総合センター 指導主事	細間 亜季	36	
	(10)		2	18	公立学校現場におけるICT活用教育 の実際と今後	園田学園女子大学 人間健康学部 教授	堀田 博史	52	
2年目教員研修			通年		演習	公開授業の実施とマンツーマンの指導を伴う研修	指導主事		88
3年目教員研修					授業参観	公開授業研修講座を受講する	指導主事		
4年目教員研修									
4年目教員研修					講話 授業参観	異校園種交流	各学校園	担当者	89
5年目教員研修 (1)		25	7	25	講話 演習	5年目教員に望むこと	教育総合センター 指導主事	仁科 良久	82
5年目教員研修 (2)		通年				マイスター教員公開授業研修講座より1講座を受講する	マイスター教員		
7年目教員研修		25	8	1	講話	中堅教員に望むこと	前武庫東小学校長	川野 吉信	65
10年経験者研修 (1)			5	9	講話	10年経験者研修の趣旨徹底及び教員としての資質向上	兵庫県 スクールカウンセラー	西本 由美	24
10年経験者研修 (2)		通年				任意の11研修を選択			
15年目教員研修		25	7	29	講話 演習	尼崎市の教育の現状と課題について 中堅教員としての資質と役割について	教育総合センター 指導主事	仁科 良久	8
20年目教員研修		通年				個人の自覚を元に任意の研修を2講座選択	各講師		
常勤の臨時講師研修	(1)	25	6	21	講話 演習	教職員の職務について ～教員の服務と授業設計～	教育総合センター 指導主事	仁科 良久	38
	(2)		10	25					15
管外転入教員研修			5	13	講話	尼崎市総合計画 尼崎の教育について	尼崎市教育次長	中川 一	25
						本市の教育の現状と課題	教育総合センター 総括担当係長	土高 伸也	

2 希望による研修

今日的課題に対応した研修

研修・研修講座名	年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
人権教育 研修講座	(1)	8	27	講話	これからめざす人権教育	佛教大学教職員支援 センター講師	西田 益久	165
	(2)	8	28					192
	(3)	8	29					162
一般教養研修講座	8	9		講話 演習	まちひとすじ ～地域がつくる尼崎の魅力～	地域環境計画研究所 代表取締役	若狭 健作	30
学校飼育動物研修講座	6	20			学校飼育動物の扱い方 最適な飼育環境について	一般社団法人 尼崎市開業獣医師会 学校飼育動物委員会 会長	池上 裕 他	18
CMSを活用した学校ホームページ作成研修講座	25	7	29	演習	コンテンツ・マネジメント・システムによる学校ホームページ作成	教育総合センター 指導主事	民谷 洋二	7
プレゼンテーション 入門研修講座	(1)	8	2	演習	プレゼンテーション入門（１）	教育総合センター 指導主事	民谷 洋二	6
	(2)				プレゼンテーション入門（２）			
情報モラル・ セキュリティ 入門研修講座	(1)	7	26	演習	取り組もう情報モラルの指導 高めよう情報セキュリティ	教育総合センター 指導主事	大森 康充	9
	(2)							3
学校・園 ホームページ 作成研修講座	(1)	7	31	演習	ホームページビルダーによる、学校・園ホームページ作成	教育総合センター 指導主事	民谷 洋二 大森 康充	8
	(2)							
校務支援システム入門研修講座	8	23		演習	校務支援システムの基本的な操作と活用方法の習得	教育総合センター 指導主事	民谷 洋二 大森 康充	8

子ども理解のための研修

研修・研修講座名	年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
カウンセリング 基礎講座	(1)	8	1	講話 演習	「あっ！ここを変えるだけでこんなに違う」聴き方のコミュニケーションスキル	フェニックスオフィス トータルプロデューサー	北原 由美	109
	(2)	8	6		相手の行動を気持ちよく変化させる心理テクニック	日本メンタルヘルス協会 心理カウンセラー	丸山 弥生	136
生徒指導・ 不登校児童 生徒支援 研修講座	(1)	8	5	講話	子どもの現状理解とこれからの生徒指導の進め方	兵庫教育大学大学院 教授	新井 肇	105
	(2)	8	21		不登校への早期対応～お互いを認め合う学級づくり～	兵庫教育大学 准教授	秋光 恵子	50
特別支援教育 研修講座	(1)	8	1	講話	「自分の歩んできた道」～ともに生きる～	全国手話研修センター人材養成課 課長	岩本 重雄	123
	(2)	8	26		特別支援教育～かかわりの手立てについて～	教育委員会 生徒指導特別支援 担当指導主事	勘舎 晃行	65

教科等の指導力向上をめざした研修

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
言語力向上研修講座	(1)	25	7	29	講話	「考える達人」をめざして	関西大学初等部教諭	三宅 喜久子	134
道徳教育研修講座	(1)		8	29	講話演習	「命の大切さ」を実感させる道徳指導の在り方について考える	環太平洋大学教授	住本 克彦	25
	(2)	26	2	公開授業 研究協議	公開授業・研究協議	関西学院大学准教授	富江 英俊	25	
	(3)	25	11		19	公開授業・研究協議	関西学院大学准教授 教育総合センター指導主事	富江 英俊 大森 康充	11
	国語科教育研修講座	(1)	25	8	2	講話演習	あしたすぐ使える 話す・聞く～ことばでキャッチボールをするには～	教育総合センター研修担当係長	桑野 光枝
(2)		8		6			「話すこと・聞くこと」と「書くこと」を関連づけた授業づくり	元同志社大学講師	遠藤 瑛子
社会科教育研修講座	(1)	8		22	講話	I C Tを利用した資料の活用～実物投影機、電子黒板、タブレットP Cの事例を中心に～	園田学園女子大学教授	堀田 博史	19
	(2)	7		30	講話演習	大好きなアーティストから考えるあなたと銀行のかかわり	全国銀行協会企画広報室 室長 キャリアリンク教育コーディネー	小倉 康介 吉澤 秀樹	20
図書館教育研修講座		8		26	講話	なぜ、子どもに読書が必要か～子どもの力を引き出す学校図書館の活用～	関西大学初等部教諭	塩谷 京子	46
算数科教育研修講座		8		2	講話演習	「算数の授業」ってどうするの？	前園和小学校校長	大川 泰三	44
数学科教育研修講座		8		21	講話	算数から数学への移行期における今日の課題	大阪教育大学講師	真野 祐輔	9
英語科教育研修講座		8		22	講話演習	英語授業にもっと共同学習を：ピアの力をいかそう	関西大学外国語学部教授	今井 裕之	29
理科教育研修講座（１）		8		9		楽しい理科実験とは！～子どもも先生もわくわくする授業を目指して～	聖トマス大学助教	松林 昭	23
理科教育研修講座（２）		8		5		やさしくて、本質的な理科の実験をしよう	立花中学校主幹教諭	松島 修	19
生活科教育研修講座		7		31		生活科での気づきを広げる・深める～幼児期の保育・教育を生活科で活かし、理科・社会科につなげるために～	関西国際大学准教授	瀧川 光治	36
幼児教育研修講座	(1)	8		8	講話	形・色・手触り感を楽しむ	関西学院大学聖和幼稚園 園長	出原 大	27
	(2)	8		9		子どもの遊びから見えるものー幼小連携への提案ー	関西国際大学教育学部 教授	奥山 登美子	49
	(3)	7		22		友だちと関わりながら楽しめるリズムあそび	田中準子音楽学院学院長	田中 準子	25
	(4)	7		31		知っておきたい子どもの心と体	N P O法人ラヴィータ研究所 子ども発達相談センター リ・ソース「和」	米田 和子	57
音楽科教育研修講座		7		5	講話演習	「楽しく進める鑑賞指導～言語活動を視野に～」～すぐに役に立つ音楽授業のアイデア～	和歌山大学教育学部講師	江田 司	49
図工・美術科教育研修講座		8		9	講話	魅力的な先生による、素敵な図工・美術科の評価	関西国際大学准教授	松岡 宏明	26

体育科教育 研修講座	(1)	25	7	25	講話 演習	水慣れ・クロール・平泳ぎの指導方法について	尼崎市スポーツ 振興事業団 指導員	松永 伸雅 垣谷 真紀子	38	
	(2)		8	2		柔道の安全指導～武道～	尼崎稲園高校 教諭	藤原 正徳	11	
	(3)		8	2		ひと流れの動きの体験～新聞になりきろう～ダンス	武庫川女子大学 教授	北島 見江	14	
小学校外国語 活動研修講座	(1)		8	20		講話 演習	授業の組み立て方のポイントとアクティビティ例	園田学園女子大学 准教授	衣笠 知子	18
	(2)		6	27			楽しく話すクラスルームイングリッシュ	学校教育課	A L T 8名	15
総合的学習研修講座			8	26			魅力ある学校づくり、ものづくり、ひとづくり	産業技術短期大学 講師	久保田 憲司	18
特別活動研修講座			8	20	講話	たのしい学級づくり ～特別支援の知見を活かして～	関西国際大学 准教授	百瀬 和夫	54	
技術・家庭科教育 研修講座			8	20		尼崎の伝統野菜と農業について	経済環境局農政課 課長補佐	金子 智子	20	
小学校ICT活用研修講座			8	8	講話 演習	授業において I C T を効果的に活用する方法	教育総合センター 指導主事	大森 康充	5	
中学校ICT活用研修講座			8	8		中学校での I C T 活用について考える	教育総合センター 指導主事	民谷 洋二	3	
食育研修講座			8	19	講話	身体と心を育てる家庭料理	兵庫県食生活改善協会 常務理事	金谷 滋子	59	
学級経営研修講座			7	26		授業づくり～入門編～学ぶ楽しさ、わかる授業	前武庫庄小学校 校長	小笹 雅幸	57	
公開授業研修講座	(1)		9	24	授業参観 研究協議	授業者 畑 和馬（中央中学校）	学校教育課 授業改善アドバイザー	倉橋 忠	35	
	(2)		10	22		授業者 松岡 絵美（梅香小）	教育総合センター 指導主事	細間 亜季	33	
	(3)		10	29		授業者 吉田 直樹（明城小）	教育総合センター 指導主事	仁科 良久	19	
						授業者 井實 康了（立花北小）	教育総合センター 指導員	柳 伸彦	25	
	(4)		11	19		授業者 喜録 由佳（大成中）	学校教育課 体育担当係長	澤嶋 伸	33	
	(5)		12	10		授業者 中村 隆史（武庫小）	教育総合センター 指導主事	仁科 良久	23	
						授業者 藤田 竜馬（園田小）	教育総合センター 指導員	柳 伸彦	24	
	(6)		26	1		21	授業者 足立 奈津希（日新中）	学校教育課 授業改善アドバイザー	田中 誠一	36
	(7)		25	10		10	授業者 戸田 一美（成徳小）	教育総合センター 指導員	太田 和樹	11
	(8)			11		17	授業者 廣田 誠（啓明中）	学校教育課 授業改善アドバイザー	田中 誠一	4
	(9)			10		31	授業者 松村 愛（下坂部小）	教育総合センター 指導員	太田 和樹	25
(10)	11			20	授業者 兒玉 永（園田東中）	教育総合センター 指導員	太田 和樹	12		
(11)	26		1	23	授業者 森本 祥一（金楽寺小）	教育総合センター 指導主事	仁科 良久	21		

公開授業研修講座	(12)	25	11	28	授業参観 研究協議	授業者 笹倉 瑞貴（立花西小）	教育総合センター 指導員	柳 伸彦	9
	(13)		11	14		授業者 濱井 健成（小園中）	学校教育課 授業改善アドバイザー	田中 誠一	12
	(14)		11	21		授業者 古田 夏美（塚口小）	教育総合センター 指導員	柳 伸彦	19
	(15)		11	6		授業者 佐藤 謙太（上坂部小）	教育総合センター 指導員	柳 伸彦	19
	(16)		11	6		授業者 鉦田 まなつ（武庫東中）	学校教育課 授業改善アドバイザー	大龍 雅子	6
	(17)		12	6		授業者 大久保 智（園田南小）	教育総合センター 指導主事	仁科 良久	8
	(18)	26	1	23		授業者 二杉 光亮（南武庫之荘中）	学校教育課 体育担当係長	澤嶋 伸	36
	(19)		1	18		授業者 難波 由貴（尼北小）	教育総合センター 指導主事	仁科 良久	17
	(20)		2	6		授業者 成田 信太郎（名和小）	教育総合センター 指導主事	仁科 良久	29
マイスター による 公開授業 研修講座	(1)	25	6	19	講話 参観	授業づくりについて 教材・教具について	小田北中学校 教諭	岡村 美保子	12
	(2)		7	4		授業づくりについて 鑑賞カードを使って 粘土体操をしよう	大島小学校 主幹教諭	大津 雅子	21
	(3)		7	29		児童に興味関心を持たせるための工夫 理科の教材研究について	武庫庄小学校 教諭	山下 由記子	13
	(4)		9	9		子どもが思考する場面をどう仕組むか	大庄北中学校 教諭	伊藤 美幸	12
	(5)		9	18		授業づくりについて	立花中学校 主幹教諭	松島 修	9
	(6)		10	17		社会科の授業づくりについて	園和北小学校 主幹教諭	青木 一朗	17
	(7)		10	30		子どもを育てるための音読	園和北小学校 主幹教諭	佐藤 隆史	22
	(8)		9	19		授業づくりについて	成良中学校 主幹教諭	中岡 禎雄	5
			11	12		授業づくりについて	成良中学校 主幹教諭	中岡 禎雄	2
	(9)		11	22		わたしの授業づくり～算数を中心に～	武庫南小学校 主幹教諭	中野 穰	17
	(10)		11	27		授業づくりについて	七松小学校 主幹教諭	中田 眞一	23
(11)	9	26	集団行動の指導について	立花中学校 主幹教諭	米田 十四郎	12			
教育研究発表会		26	2	18	講話	基礎学力の向上	立花西小学校 校長	米田 浩	87
						教育相談	環太平洋大学 教授	住本 克彦	
						教育の情報化	奈良教育大学 准教授	伊藤 剛和	

特別に実施する研修

研修・研修講座名	年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
文化部顧問研修	25	4	22	講話	生徒のやる気を起こす知恵とコツ	ヒューマンプロデューサー	長谷川 一瀬	74
アレルギー対応研修		5	30		学校におけるアレルギー疾患に関する対応について	神戸市立医療センター中央市民病院 医長	岡藤 邦夫	69
幼児教育		7	1	講話 演習	子どもや保護者への対応について	学校教育課 指導主事 学校教育課 指導員	寺田 忠司 尾崎 匡	13
保護者対応研修		7	26	講話	保護者対応の基本	元尼崎北小学校 校長	眞鍋 憲司	49
理科教育研修		8	12		わくわく理科実験でめきめき学力向上	七松小学校 主幹教諭	中田 真一	34
食物アレルギー対応マニュアル研修講座		8	22	講話 演習	学校におけるアレルギー疾患の児童生徒への対応	神戸市立医療センター中央市民病院 医長	岡藤 邦夫	151
部活動顧問研修		8	19	講話	体罰に頼らない指導法～生徒のやる気を引き出す方法	奈良教育大学 教授	岡澤 祥訓	35
校・園長研修		9	9		尼崎市のこれからを見据えた教育のあり方	尼崎市 市長	稲村 和美	79
高校研修		12	9		中高連携による特別支援教育推進について	尼崎市教育委員会 尼崎高等学校 尼崎養護学校	河合 康一 山 大玲 宮下 剛	26
情報モラル研修講座		1	16		スマートフォン（ライン等）を介したサイバー犯罪について	兵庫県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課	高橋 善和	28
校長研修		1	16		いじめ防止対策推進法施行に伴う学校（教育委員会）の対応について	兵庫教育大学大学院 教授	新井 肇	70
ものづくり研修	26	1	30	講話 演習	市内の大学と連携し、ものづくりについて学ぶ	産業技術短期大学	久保田 憲司 久次米 利彦	4

12 平成25年度 教育相談担当の研修事業等報告

1 教育相談スーパーバイズ

教育相談の事例等に関し、専門的な立場にある大学教授および心療内科医・精神科医等から助言・指導を受けることにより、相談員の資質向上と業務の充実を図る。

〈スーパーバイザー〉

分野	氏名	職名
臨床心理士	近森 聡	大阪府臨床心理士会常任理事
臨床心理士	藤原 由妃	大阪総合医学・教育研究会 付属/こども心身医療研究所・診療所

年	月	日	担当	テーマ・内容
25	6	13	近森 聡	学校で問題行動がある姉と不登校傾向の妹の 小学6年生双子姉妹について
25	11	14	藤原 由妃	不登校の中学2年生の姉と小学6年生の弟について

『教育相談担当』活動状況

1 相談件数

(平成25年4月～26年3月)

(平成25年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
相談件数 ①+②	230	173	175	147	97	190	204	151	154	162	144	124	1,951
①電話相談	138	143	148	104	82	162	183	126	124	144	125	103	1,582
面接 相談	②相談者数	92	30	27	43	15	28	21	25	30	18	19	369
		③延面接数	186	180	222	251	196	240	260	264	238	313	2,847
延相談件数 ①+③		324	323	370	355	278	402	443	390	362	457	387	4,429
出張 相談	面接数(再掲)	1	4	9	6	1	5	2	7	0	5	9	51
		研修数(再掲)	1	0	1	0	0	1	2	0	0	1	8
延出張相談数(再掲)		2	4	10	6	1	6	4	7	0	6	11	59

2 電話相談

(1) 相談内容別数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
身 体 言 語	30	31	25	8	23	26	15	15	13	26	28	22	262
精 神 情 緒	57	34	44	29	12	40	46	27	25	39	52	28	433
性 格 行 動	33	49	54	40	37	57	84	37	49	50	30	27	547
学 業 進 路	9	9	10	11	8	17	20	12	13	17	4	15	145
そ の 他	9	20	15	16	2	22	18	35	24	12	11	11	195
合 計	138	143	148	104	82	162	183	126	124	144	125	103	1,582

(2) 相談対象者別数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
就 学 前	2	3	5	2	3	14	2	3	4	4	4	5	51
小 学 生	62	83	77	48	33	70	109	43	59	67	54	51	756
中 学 生	56	42	45	34	22	52	41	59	42	49	49	28	519
高 校 生	8	7	13	11	12	12	14	14	13	13	11	6	134
教 員 他	10	8	8	9	12	14	17	7	6	11	7	13	122
合 計	138	143	148	104	82	162	183	126	124	144	125	103	1,582

(3) 相談者別数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
小 学 生	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中 学 生	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	2	0	6
高 校 生	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	3
教 師	42	40	48	36	21	57	71	51	53	45	39	31	534
保 護 者	69	79	76	48	40	85	82	64	54	81	61	51	790
そ の 他	27	24	22	20	19	19	30	11	17	16	22	21	248
合 計	138	143	148	104	82	162	183	126	124	144	125	103	1,582

3 面接相談

(1) 受付人数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 子	34	7	0	4	1	1	1	3	1	2	9	6	69
女 子	58	23	27	39	14	27	20	22	29	16	10	15	300
合 計	92	30	27	43	15	28	21	25	30	18	19	21	369

(2) 相談内容別数 (平成25年4月～26年3月) (平成25年度)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
身体言語	相談者数	24	8	6	3	4	3	2	3	2	3	2	1	61
	延面接数	46	45	52	48	52	48	40	49	35	41	56	47	559
精神情緒	相談者数	34	14	6	8	1	7	7	5	4	6	1	9	102
	延面接数	79	87	103	80	53	90	113	101	85	114	94	97	1,096
性格行動	相談者数	27	6	10	24	6	14	10	12	16	3	6	7	141
	延面接数	45	38	55	97	67	90	94	94	100	123	85	77	965
学業進路	相談者数	7	2	4	4	4	4	2	3	7	4	1	1	43
	延面接数	16	10	11	20	24	12	13	18	17	28	17	11	197
そ の 他	相談者数	0	0	1	4	0	0	0	2	1	2	9	3	22
	延面接数	0	0	1	6	0	0	0	2	1	7	10	3	30
合 計	相談者数	92	30	27	43	15	28	21	25	30	18	19	21	369
	延面接数	186	180	222	251	196	240	260	264	238	313	262	235	2,847
出張面接(再掲)		1	4	9	6	1	5	2	7	0	5	9	2	51

(3) 相談対象者別数(校種別)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
就 学 前	相談者数	5	1	2	3	3	5	0	2	3	0	2	2	28
	延面接数	8	9	13	14	11	17	9	9	8	14	14	10	136
小 学 生	相談者数	46	22	15	28	8	14	13	16	20	8	6	11	207
	延面接数	93	102	134	155	120	132	147	157	149	166	148	150	1,653
中 学 生	相談者数	25	4	6	8	4	8	7	5	6	8	1	4	86
	延面接数	58	49	49	59	46	69	83	79	62	104	72	53	783
高 校 生	相談者数	15	2	2	2	0	1	1	1	1	1	1	1	28
	延面接数	25	19	23	19	18	22	21	18	19	26	18	19	247
教 員 他	相談者数	1	1	2	2	0	0	0	1	0	1	9	3	20
	延面接数	2	1	3	4	1	0	0	1	0	3	10	3	28
合 計	相談者数	92	30	27	43	15	28	21	25	30	18	19	21	369
	延面接数	186	180	222	251	196	240	260	264	238	313	262	235	2,847

14 平成25年度 教育研究部会の概要報告

平成25年度は、「A部会」と「B部会」にわけて研究を行った。教育相談・情報教育・基礎基本教育の三つの部会を「A部会」とし、尼崎市独自の学習到達度調査問題作成の部会を「B部会」として立ち上げた。

A部会

「教育相談部会」と「教育の情報化部会」そして『ぐんぐんのびる個別ドリルシステム』に焦点をあてた「基礎学力向上部会」の3部会で進めた。テーマに沿った研究を研究員の日々の教育活動と連動させながら進めていった。その成果を研究部会発表会や研究冊子等で報告し、学校現場に寄与した。内容を精選し、さらなる充実をめざしている。

1 基礎学力向上

ぐんぐんのびる個別ドリルシステムを活用した、 算数科における基礎学力の向上

指導主事	細 間	亜 季	
指導主事	仁 科	良 久	
研究員	守 屋	貴 哉	(浜田小)
〃	入 江	伸 弥	(立花西小)
〃	小 寺	茉利絵	(水堂小)
〃	笠 井	美 香	(武庫東小)
〃	安 部	美 佳	(園田小)

【内容の要約】

尼崎市の児童生徒の学力向上について考えるとき、「読み、書き、そろばん」に代表される基礎学力の定着は必須のものである。尼崎市では、平成19年度より「ぐんぐんのびる個別ドリルシステム（以下、「ぐんぐん」）」の運用を開始した。これは、漢字と計算について、個々の学習状況に応じた習熟を可能にしたシステムであるが、近年は、素点の入力に関する事務作業量や、印刷費などの費用面の問題から活用が滞っている。

しかし、「ぐんぐん」においては、過去の本センターの研究から、基礎学力向上における学習効果については明らかにされている。

そこで、本年度は学力層に応じた「ぐんぐん」の活用効果を足掛かりに、「ぐんぐん」活用による新しい可能性について考察をした。

2 教育の情報化

校務の情報化推進についての研究

ー 校務の情報化に関する研修モデルの開発と検証ー

指導主事	大 森	康 充	
指導主事	民 谷	洋 二	
研究員	有 馬	陽 一	(水堂小)
〃	兒 玉	崇	(園田小)
〃	大 西	勝 也	(中央中)
〃	木 下	瞳	(大成中)
〃	早 川	洋 平	(小園中)

【内容の要約】

昨年度より、小・中・特別支援学校において統一された校務支援システムが導入されたことで、本市の「校務の情報化」には、一定の進捗が見られるようになった。一方で、以前より使用してきた学校独自のシステム以外使用したことのない教員や、そもそも校務をコンピュータで処理したことのない教員が、「校務の情報化」になかなか取り組めずにいるという側面も浮き彫りになってきている。

そこで、主に各校の情報教育担当者がリーダーとなって取り組める、校務の情報化に関する研修モデルを開発し、実践検証していくことで校務の情報化の推進を目指すこととした。

3 教育相談

予防的・開発的教育相談

ー こころの居場所を考えるー

係 長	井 上	満 夫	
指導主事	青 木	優樹恵	
研究員	藤 田	和 久	(清和小)
〃	浅 尾	貴代美	(明城小)
〃	衣 斐	明 美	(小園中)
〃	坂 本	知 弘	(大成中)

【内容の要約】

子どもたちのこころの安定にとって、一日の大半を過ごす学校や学級が子どもたちのこころの居場所であることが望ましい。そこで、こころの居場所づくりの取組を通して、子どもたちや学級がどう変容したかを研究する。

まず、子どもたちの実態を把握するために、アンケートを実施する。

その結果をもとに、学級の実態に合わせていくつかの実践を継続して行い、よりよい人間関係づくりに取り組む。その後、学級がどう変わったか、個々のつながりはどう変容したか、学級がこころの居場所となったか等、2回目のアンケート結果を分析し考察する。

B 部会

学校教育課と連携し、新しい学力観のもと、尼崎市児童・生徒の学力における課題をさぐり、尼崎市独自の学習到達度調査問題（以下、調査問題）の作成・実施・分析を行った。その結果から見えてきた課題をもとに、学校での授業に活かせる「授業アイデア例」小学校国語、中学校理科、中学校社会科を作成した。このB部会では本市児童・生徒の学習到達度の状況を知るとともに、調査問題を各学校や児童・生徒に返すことで、学び直しや教員の授業改善及び評価の検証等、日々の教科指導に役立つところに取り組むの特長があった。調査問題の作成・分析は、授業改善のアプローチとして大きな意味をもつと考えられる。

14 児童生徒文化充実支援事業の概要報告

児童生徒の個性の伸長、学習への興味・関心・意欲の向上を図るため、児童生徒の研究、調査、発表などの文化的活動を奨励支援する行事を開催いたしました。



- 1 中学校・高等学校合同音楽発表会
(平成 25 年 11 月 1 日 あましんアルカイクホール)
小学校音楽発表会 (平成 25 年 11 月 14・15 日 あましんアルカイクホール)
- 2 幼児画展・図工展・美術展 (平成 25 年 12 月 4～8 日 総合文化センター美術ホール)
- 3 演劇発表会 (平成 26 年 1 月 19 日 ピッコロシアター)
- 4 書道展 (平成 26 年 1 月 30～2 月 2 日 総合文化センター美術ホール)
- 5 なかよし作品展 (平成 26 年 1 月 30～2 月 3 日 総合文化センター美術ホール)
- 6 英語祭 (平成 25 年 11 月 13 日 園田学園 中・高等学校)
- 7 ひとりひとりの持ち味がにじむ美術展
(平成 26 年 1 月 22 日～26 日 総合文化センター美術ホール)
- 8 特別支援学級卒業生を送る会 (平成 26 年 2 月 22 日 小田公民館)
- 9 スピーチフェスティバル (平成 26 年 2 月 6 日 教育総合センター)
- 10 放送、映画感想文コンクール表彰式 (平成 26 年 2 月 1 日 中央公民館)
- 11 読書感想文発表会 (平成 25 年 11 月 8 日、平成 25 年 11 月 29 日 教育総合センター)
- 12 中学校理科作品展及び研究発表会 (平成 25 年 10 月 12 日～15 日 青少年センター)
尼崎市児童理科研究発表会 (平成 25 年 10 月 17 日 教育総合センター)
創意工夫展 (平成 25 年 9 月 13～17 日 青少年センター)
- 13 社会作品発表会 (平成 25 年 9 月 27 日～10 月 3 日 青少年センター)
- 14 技術家庭作品発表会 (平成 26 年 2 月 15～16 日 青少年センター)

15 平成25年度 視聴覚センター事業報告

(1) 研修事業報告

16ミリ映写機操作技術講習会 (参加人数 19人)

月	日	テーマ
7	31	演習「16ミリ映写機の操作法」
10	24	演習「16ミリ映写機の操作法」

(2) 視聴覚ライブラリー利用状況

① 受付件数

学校関係	10
公共団体	12
民間団体	9
個人	0
計	31

学校関係: 公私立の幼稚園・小・中・高等学校・大学等

公共団体: 学校以外の公共機関・児童館・児童ホーム・保育所等

民間団体: 各学校PTA・子ども会・自治会・地域団体・老人会等

個人: 個人登録者

② 利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼児	0	0	0	70	680	212	0	268	0	0	0	0	1,230
小学生	130	558	434	102	977	560	0	0	0	0	0	20	2,781
中学生	15	870	0	60	0	1,640	3	0	0	0	0	0	2,588
高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般	16	139	49	38	616	98	8	52	12	0	0	6	1,034
計	161	1,567	483	270	2,273	2,510	11	320	12	0	0	26	7,633

③ 教材・教具別貸出状況

(台)／(巻)

16ミリ映写機	スライド映写機	液晶プロジェクター	DVDプレーヤー	OHP	スクリーン	暗幕	合計
8	0	1	0	0	3	5	17

16ミリフィルム	ビデオテープ	スライドフィルム	TP	CD教材	DVD教材		合計
18	54	0	0	0	2		74

16 平成25年度 教科書センター事業報告

1 常時展示	開館時間	平日9:00～21:00（但し、土曜日、日曜日は閉館）
	展示教科書	小学校 昭和40年以降の教科書 中学校 昭和37年以降の教科書 高等学校 昭和54年以降の教科書
	その他	学校教育法附則第9条に基づく一般図書
2 法定展示	展示期間	平成25年6月14日 ～ 平成25年7月3日 （但し、土曜日、日曜日は閉館）
	展示教科書	平成23年度～平成26年度使用小学校用教科書 平成24年度～平成27年度使用中学校用教科書 平成26年度使用高等学校用教科書
	その他	学校教育法附則第9条に基づく教科書

17 平成25年度 教育情報の収集・整理事業報告

1 各種教育資料の収集（保有数）	
・ 教育関係図書	13543冊
・ 教育関係資料（研究紀要・報告書）	7694冊
・ 雑誌収集	13タイトル
2 教育広報活動	
・ 「教育総合センターだより」 （平成25年5月、9月、12月、平成26年3月の年4回発行）	No. 128 ～ No. 131
・ 「教育あまがさき」 （平成25年10月、平成26年3月の年2回発行）	第72号 ～ 第73号
3 各種刊行物の発行	
・ 教育研究報告書	紀要 51号

(様式3)

第 号
平成 年 月 日

教育総合センター所長 あて

校・園 名

校・園長名

印

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届けます。

1 研修・研修講座名

2 研 修 実 施 日

平成 年 月 日 ()

3 対 象 者 名

4 欠 席 理 由

(校務の場合、本人でなければならない理由を記入する)

以 上

(様式4)

平成 第 年 月 日 号

兵庫県教育委員会
阪神教育事務所長 様

校 名
校長名 印

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届け出ます。

1 研 修 名 _____

2 研 修 実 施 日 平成 年 月 日 ()

3 欠席者の職名・氏名
職名 _____

氏名 _____

4 欠 席 理 由 (校務の場合、本人でなければならない理由を記入する)

以 上

(様式5)

平成 年 月 日

県立教育研修所長 様

学校名

校長名

職

印

欠 席 届

平成26年度現職教育研修講座を下記により欠席しますので届け出ます。

記

講座番号			
講座名			
欠席期日		平成 年 月 日 () ~ 平成 年 月 日 ()	
期 間		() 日間	
欠席者	職 名		
	氏 名		
欠 席 理 由		区分	公務のため ・ 私用のため ・ その他
		(理由を記入してください)	

欠席届は、県立教育研修所長あて直送してください。